

## 国東市認定農業者の会が設立

9月3日(月)午後2時から、国東町小原のいこいの村国東で、国東市認定農業者の設立総会が、市内の認定農業者や来賓、関係者ら約130人が参加して開催されました。

同会は、各町毎に活動していた認定農業者の皆さんが、組織を一本化することで、会員相互の連携とより効率的な活動による農業経営の発展と国東市の農業振興を目指すために設立されました。

総会では、発起人代表の森川英則さん=顔写真=のあいさつに続き、野田侃生市長、三河明史大分県東部振興局長、猪俣俊雄市議会



議長、JAくにさき林浩昭常務が祝辞を述べた後、規約や事業計画、予算などについて協議。会長に森川英則さん(国東町)を選出しました。



◀「農業を取り巻く状況は厳しいものがありますが、市内の認定農業者がひとつになり、力を結集して国東市の農業発展のため頑張っていきたい。」とあいさつする森川会長

## よりよい品質の「国東しいたけ」をめざして

8月31日(金)午前9時から、国東町しいたけ生産小組合(鹿島戦一会長・144戸)が、椎茸原木となるくぬぎ林の育成や整備状態を競う「造林コンクール」と、駒打ちをして伏せ込みをしている原木のしいたけ菌の成長状況を競う「入木コンクール」がありました。造林コンクールには国東町内の乾しいたけ生産農家6戸が参加し、入木コンクールには12戸の参加がありました。

審査員となった大分県東部振興局や市の林業担当職員、OSK国東支部の職員等とともに、生産者の皆さんも、国東町内の山を巡回して、熱心に審査のようすを見守りました。

鹿島会長の話。「私たちしいたけ生産小組合では、この2つのコンクールの他にホダ場コンクールも行っています。これは、生産者同士でしいたけ栽培技術を研究しあい、より品質の良い乾しいたけ生産をめざして昔から行っているものです。今年も、国東市から全国の品評会で農林水産大臣賞と林野庁長官賞ができました。こういう研修を通してさらに「国東ブランド」の乾しいたけの名をさらに高めるよう、会

員の皆さんとともに頑張っていきたいと思います。」

なお、それぞれのコンクールの上位入賞者は次のとおりです。(敬称略)

### 造林コンクール

最優秀 松丸義光(下成仏)

優 秀 立麻文夫(上小原)・大島十三秋(上小原)

### 入木コンクール

最優秀 酒井英治(赤松)

優 秀 岩本久子(行入)・奈須操(稲川)



## 狩猟期間・狩猟可能区域が変わります

大分県では、農林業被害の甚大なイノシシ、シカに限って、次のとおり狩猟期間を延長することとしました。山に入る方は、明るい色の服装に心がけるなど十分注意するようお願いします。

ハンターの皆さんは、狩猟の際は赤やオレンジなどの目立つ色のベストや帽子を着用し、事故を起こさないよう細心の注意をお願いします。

**特例休猟区** 津久見市内及び一部の国有林を除く県内の休猟区において、イノシシ、シカの捕獲が可能と

なりました。具体的な場所については、各振興局森林・林業班までご確認ください。

### 問い合わせ

大分県東部振興局森林・林業班 ☎0978@20156

鳥獣名	平成18年度まで	平成19年度から
イノシシ	11月15日～3月15日	11月1日～3月15日
シカ	11月15日～2月15日	11月1日～3月15日